

ロクでなし魔術講師と絵画回想

三嶋くろね画集 vol.2

Reminiscence paintings of bastard magic instructor  
Mishima Kurone Art Book



# REMINISCENCE PAINTINGS

OF BASTARD  
MAGIC INSTRUCTOR









ギャラリーレコード

ロクでなし魔術講師と絵画回想

三嶋くろね画集 vol.2

Reminiscence paintings of bastard magic instructor  
Mishima Kurone Art Book





#### Comment

グレンの教師服を纏って自信に満ちたシスティーナです。

ドラゴンマガジン2018年9月号  
表紙 2018年

特務分室メンバーが全員そろったイラスト、実は描いたことが無かったのですよね。というわけでここで描かせて頂きました。この頃はきっと、セラとバーナードさんがムードメーカーだったのかも…？

セラのウェディング姿です。幻になってしまいましたが、どこかでこんな世界線があったら良いな、と願いながら描きました。

帝国宮廷魔導士団特務分室  
描き下ろしピンナップ 2021年

セラ＝シルヴァース  
描き下ろしピンナップ 2021年



# Character introduction

## Contents

- 004 イヴ=イグナイト
- 006 セリカ=アルフォネア
- 008 アルベルト=フレイザー
- 010 セラ=シルヴァース





イヴ  
イグナイト  
Eve Ignite





### Comment

ブライドの高そうな、不敵に笑う女性のイメージでデザインしました。11巻以降はとある事情で塞ぎがちな表情をしています、初登場時は大分自信に溢れた表情にしていますね。グレンと同じ年なので、あまり大人にしすぎてしまわないように心がけています。ブライベートでもあまり表情を緩めることはなく、いつもツンとした雰囲気を漂わせてそうですよね…それがあるからこそ、いざ崩れたときにもグッと来るキャラクターだと思います。

イグ＝イグナイト      アカシックレコード  
 ロクでなし魔術講師と禁忌教典 7  
 カバーイラスト 2016年





セリカールフォネア  
Celica Arfonia







## Comment

グレンのかつての同僚で、相棒という位置付けでデザインしています。アルベルトも、リエルと同様に半先生から「こんな感じで!」とキャラクターのラフを頂いていたので、できるだけ沿った上で今の形になりました。本編4巻のカバーイラストは、ライトノベルにしては珍しい「男性キャラのみの表紙」として描かせて頂いたのですが、初めての機会でしたので世に出るまでドキドキしていたのを覚えています。

アルベルト＝フレイザー  
 ロクでなし魔術講師と禁忌教典4  
 カバーイラスト 2015年



アルベルト＝フレイザー  
 Albert Frazer



セラールシルヴァース  
Selah Silvers





### Comment

セラは…どこまでここで語っていいのか迷いますね——！ 色んな意味で罪な女性だな、と。キャラクターデザイン的には割とすんなりデザインが完成したキャラでした（銀髪というのもあり…）。設定的にそこまで描く機会は多くありませんが、だからこそ描く際には毎回気合を入れています。いつも優しい表情をしてるので、他にも色んなシーンで描いてみたい女性キャラですね。

セラ＝シルヴァース  
 ロクでなし魔術講師と禁忌教典 5  
 口絵 2015年

## Column Badges



梟の紋章



蛇の紋章『短剣に絡みつく蛇』



クウム  
双生児の紋章『天空の双生児』



魔方陣



アルザーノ帝国魔術学院校章



# Original work

## 13 to 18

### Contents

014 カバーイラスト

020 口絵

050 挿絵

## Comment

いつもはマイペースなリエルですが、グレンに抱えられてぐったりとしていますね。ピンチ回です。この巻のグレンVSアルベルト戦が熱すぎて、読んでいてとってもわくわくしました…！ 可愛い女の子のやりとりも好きですが、少年漫画のような熱さもあるのがこの作品の魅力だと思います。ただの感想になってしまいました。

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 13  
カバーイラスト 2018年







#### Comment

魔術師としての才覚を現したシスティーナと、それに憧れるエレンです。システィーナは元々の才能もありながら、努力を諦めずに能力を伸ばしていく様子、エレンはそれに追いつこうとしつつも追いつけない…という悔しさを表現したりしてます。

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 14  
カバーイラスト 2019年



#### Comment

魔術競技祭のときもそうでしたが、生徒同士のバトルってキャラクターの成長が感じられて良いですね。2巻のときはまだ初々しかったシスターナやルミアが、たくさんの経験を経てなんと立派になったことが...



### Comment

アカシックレコード

禁忌教典とは一体なんなのか。このあたりから、どんどん謎が紐解かれていきますよね。…余談ですが、このカバーのナムルスさん、カバーだけだと服を着ていない風に見えますがちゃんと服着てるんですよ!!

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 16  
カバーイラスト 2020年







#### Comment

イヴは描いていて楽しいキャラですね。とにかく、過去に囚われずに幸せになってほしいなあ…。ある意味でスカッとした巻でもありました！

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 17  
カバーイラスト 2020年





Comment

カバーでグレンを泣かせたのは初めてですね。何やら意味深なグレンとセリカで、不穏な気配を感じ取って頂けていたら嬉しいです。18巻は内容も内容なので、非常に沈んだ気持ちで作業をしていました。

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 18  
カバーイラスト 2020年









Comment

アルベルトの強キャラ感を出したかったイラストです。なんか強いキャラって高いところに立たせたくなくなっちゃうんですね…。グレンVSアルベルト！というのが伝われば嬉しいです。









#### Comment

聖リリィ魔術女学院のコレットさん  
がいる貴重な口絵ですね。フランシ  
ースとコレットコンビも好きなので  
また描けて嬉しかったです！













Comment

エレンが、本当の意味でスティー  
ナに救われたシーンのイラストです  
ね。持つ者と持たざる者の物語に  
読んでいてとても印象的でした。

ロクでなし遠隔講師と禁忌教典 14  
口絵 2019年





Comment

この口絵の、娘をけしかけるアリシアさんがお気に入りです。そんなこと言っちゃっていいの!?! という感じで。アリシアさんのお茶目な部分とても可愛い。













#### Comment

メルガリウスの天空城を眺めながら  
思いを馳せたいつかのお爺様とシス  
ティーナ、そして現在のシスティー  
ナです。ある意味では“ここが始まり”  
感ありますよね…。





## Comment

なかなかの肌色率！ 湯気があまり仕事をしないので、お湯と髪に頑張ってもらいました。

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 16  
口絵 2020年









Comment

ダークサイドイグナイト。イグナイト  
トビ、個人的にゴリゴリの強面マ  
ッチョメェンを想像していたので  
が、「小物臭ある感じで」と指定を頂  
き小物全開になりました。



Comment

教えて貰うばかりでなく、先生の背中も押してあげられるようになった生徒達…ほんと良いクラスですね。

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 18  
口絵 2020年











Akashic records of bastard magic instructor 13  
Illustration

01  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 13  
挿絵 P19 2018年

02  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 13  
挿絵 P63 2018年

03  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 13  
挿絵 P187 2018年

04  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 13  
挿絵 P217 2018年

05  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 13  
挿絵 P277 2018年

06  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 13  
挿絵 P285 2018年

07  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 13  
挿絵 P319 2018年

08  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 13  
挿絵 P327 2018年

09  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 13  
挿絵 P337 2018年

10  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 13  
挿絵 P147 2018年

01	02	03	10
04	05	06	
07	08	09	









## Akashic records of bastard magic instructor 14 Illustration

01

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 14  
挿絵 P35 2019年

04

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 14  
挿絵 P167 2019年

02

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 14  
挿絵 P51 2019年

05

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 14  
挿絵 P319 2019年

03

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 14  
挿絵 P149 2019年

06

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 14  
挿絵 P359 2019年

01	02	01	02	03
03		04	05	06
04	05			



# Akashic records of bastard magic instructor 15

## Illustration

01

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 15

挿絵 P43 2019年

02

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 15

挿絵 P101 2019年

03

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 15

挿絵 P257 2019年

04

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 15

挿絵 P305 2019年

05

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 15

挿絵 P213 2019年







## Akashic records of bastard magic instructor 16 Illustration

01

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 16  
挿絵 P23 2020年

04

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 16  
挿絵 P205 2020年

02

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 16  
挿絵 P149 2020年

05

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 16  
挿絵 P227 2020年

03

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 16  
挿絵 P177 2020年

06

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 16  
挿絵 P285 2020年

	01	02		01	02	03
03				04	05	06
04		05				



# Akashic records of bastard magic instructor 17

## Illustration

01

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 17

挿絵 P65 2020年

02

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 17

挿絵 P95 2020年

03

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 17

挿絵 P147 2020年

04

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 17

挿絵 P229 2020年

05

ロクでなし魔術講師と禁忌教典 17

挿絵 P327 2020年







Akashic records of bastard magic instructor 18  
Illustration

01  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 18  
挿絵 P33 2020年

02  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 18  
挿絵 P101 2020年

03  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 18  
挿絵 P125 2020年

04  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 18  
挿絵 P253 2020年

05  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 18  
挿絵 P271 2020年

06  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 18  
挿絵 P329 2020年

07  
ロクでなし魔術講師と禁忌教典 18  
挿絵 P165 2020年

01	02	03	07
04			
	06		
05			



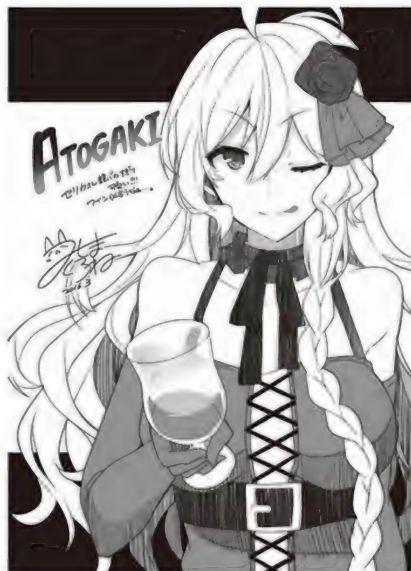




# Column Afterword



コミックス『ロクでなし魔術講師と禁忌教典 1』  
応援イラスト 2015年



メモリーレコード  
ロクでなし魔術講師と追想日誌  
あとがき 2016年



ロクでなし魔術講師と追想日誌 2  
あとがき 2017年



ロクでなし魔術講師と禁忌教典 14  
あとがき 2019年



ロクでなし魔術講師と追想日誌 7  
あとがき 2020年



Memory records of bastard magic instructor

# Original work

1 to 8

## Contents

060 カバーイラスト

068 口絵

086 挿絵





#### Comment

生徒達のためにカリキュラムを組んでたけど、疲れて眠ってしまったグレンを見守るセリカ。二人の関係性を読み取って頂けたら嬉しいです。



ロクでなし魔術講師と追想日誌 2  
カバーイラスト 2017年

ロクでなし魔術講師と追想日誌  
カバーイラスト 2016年



#### Comment

『禁忌教典』の表紙は、日誌といふよりはパトロール・イラストが多いので、『追想日誌』は日誌感が全面に出ています。学校が終わった、帰路で美しく涼しくても買い食いしてたり、冒険はなかなか終わらない姿を垣間で見られる、という意味です。このコンセプトは合っているのではないかと思います。





#### Comment

かつてのグレンの同僚達。このイラストはグレン目線です。セラは1回口絵でカラーを描きましたが、それ以降はモノクロのみだったのでここで描けて嬉しかったですね。



ロクでなし魔術講師と追想日誌 4  
カバーイラスト 2019年

ロクでなし魔術講師と追想日誌 3  
カバーイラスト 2018年



Comment

グレンとルミアと、真ん中の謎の  
(?) 金髪幼女。彼女の正体はぜひ  
『追想日誌』4巻を読んで頂きたい  
ですね！ 個人的にお気に入りの1  
枚です。



## Comment

髪尻尾の無いグレンとジャティス、それに嘆息するイヴという軍時代の3人。グレンとジャティスは同僚だったときでも常にぶつかっていたのでしょうか…。そんな部下達に振り回されるイヴもこの年にして苦勞人ですね…。





Comment

小さいイヴと姉のリディアさん。イヴはこんな小さい頃から軍服着ていたんですね…。ちなみに、イヴとリディアの髪飾りはお揃いです。







#### Comment

グレンは何人の花嫁候補がいるんだろうなあ…。ここでは3人しか描いていませんが、まだほかに多いそうですよねえ…。罪な男ですねえ…。



ロクでなし魔術講師と追想日誌 8  
カバーイラスト 2021年

ロクでなし魔術講師と追想日誌 7  
カバーイラスト 2020年



#### Comment

荒んでいたルミアに、「魔術ってすげえだろ?」と問いかけているグレンです。前にどこかで、荒んでいた頃のルミアのお話も見てみたいなと話した気がするのですが、ここで見る事ができて良かったです。改めて本編を読み返したくなりました。





#### Comment

深夜に趣味全開のシスターナ。彼女の趣味はこう…クリエイターとして親近感が湧きますよね。仕事にする前は自分もこうなっていたのかな…とか、思わず遠い目をしてしまいます。





Comment

謎の光が良い仕事してくれました。

ロクでなし魔術講師と追想日誌  
11絵 2016年





Comment

荒んだセリカさん。寝ながらも飲み  
でるってよほどですね！？ 多  
分この後もにも酒のウイスキーが  
ゴロゴロしているのでしょう。

ロクでなし魔術講師と透魔日記  
口絵 2016年





Comment

フェジテに降り立ったサンタ衣装の三人娘。「ロクでなし」のキャラは普段の制服だけでなく、色んな衣装を着せている気がします。





Comment

まほうようじと三人娘。不思議な世界を舞台に描いて、よいなかに響かす感と救い。ささし。な物語が伝わればよいと思います。





#### Comment

もしもイヴがOLになったら、という設定で描かせて頂いた物です。たぶん、エリートだけど部下に振り回されて残業続きだわロクにご飯もゆっくり食べられずに携帯食料で済ましてるわでOLになっても苦労人なイメージのイヴです。でも絶対男性社員にはモテているし女性社員からも羨望の眼差し。





#### Comment

永久ともいえる時間の中で、ヒマを持って余し気味なナムルス。実際に永久の時を生きる事になったら、どうなるんでしょうね…。彼女は特に人に認知されることも少ないと思うので、なおさら1人でのいるのは寂しそうですなと思います。





#### Comment

もしもの子供達。指定を頂いたときはまさかでした。何をどうやったらシスティーナの教育方針がねじ曲がってしまうんだ…！ ルミアの子はなんとなく小悪魔になりそうなのはわかる。そしてリエルの子は、ぜひ母子のやりとりを見てみたい！









## Memory records of bastard magic instructor 1 Illustration

- |  |   |
|--|---|
| <p>01<br/>ロクでなし魔術講師と追想日誌<br/>挿絵 P31 2016年</p> <p>02<br/>ロクでなし魔術講師と追想日誌<br/>挿絵 P61 2016年<br/>(初出:ドラゴンマガジン2014年9月号)</p> <p>03<br/>ロクでなし魔術講師と追想日誌<br/>挿絵 P97 2016年<br/>(初出:ドラゴンマガジン2015年1月号)</p> <p>04<br/>ロクでなし魔術講師と追想日誌<br/>挿絵 P183 2016年</p> | <p>05<br/>ロクでなし魔術講師と追想日誌<br/>挿絵 P193 2016年<br/>(初出:ドラゴンマガジン2015年5月号)</p> <p>06<br/>ロクでなし魔術講師と追想日誌<br/>挿絵 P243 2016年</p> <p>07<br/>ロクでなし魔術講師と追想日誌<br/>挿絵 P311 2016年</p> <p>08<br/>ロクでなし魔術講師と追想日誌<br/>挿絵 P165 2016年</p> |
|--|---|

01	02	03	08
04	05	06	
07			









## Memory records of bastard magic instructor 2 Illustration

01  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 2  
挿絵 P49 2017年  
(初出: ドラゴンマガジン 2015年7月号)

02  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 2  
挿絵 P87 2017年  
(初出: ドラゴンマガジン 2015年9月号)

03  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 2  
挿絵 P107 2017年  
(初出: ドラゴンマガジン 2015年9月号)

04  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 2  
挿絵 P151 2017年  
(初出: ドラゴンマガジン 2015年11月号)

05  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 2  
挿絵 P167 2017年  
(初出: ドラゴンマガジン 2015年11月号)

06  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 2  
挿絵 P203 2017年  
(初出: ドラゴンマガジン 2016年1月号)

07  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 2  
挿絵 P229 2017年  
(初出: ドラゴンマガジン 2016年1月号)

08  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 2  
挿絵 P249 2017年

09  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 2  
挿絵 P297 2017年

10  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 2  
挿絵 P27 2017年  
(初出: ドラゴンマガジン 2015年7月号)

01	02	03	10
04	05	06	
07	08	09	









Memory records of bastard magic instructor 3  
Illustration

01  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 3  
挿絵 P57 2018年  
(初出:ドラゴンマガジン2016年3月号)

02  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 3  
挿絵 P61 2018年  
(初出:ドラゴンマガジン2016年3月号)

03  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 3  
挿絵 P83 2018年  
(初出:ドラゴンマガジン2016年5月号)

04  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 3  
挿絵 P113 2018年  
(初出:ドラゴンマガジン2016年5月号)

05  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 3  
挿絵 P171 2018年  
(初出:ドラゴンマガジン2016年7月号)

06  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 3  
挿絵 P173 2018年  
(初出:ドラゴンマガジン2016年7月号)

07  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 3  
挿絵 P217 2018年  
(初出:ドラゴンマガジン2016年9月号)

08  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 3  
挿絵 P261 2018年

09  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 3  
挿絵 P309 2018年

10  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 3  
挿絵 P179 2018年  
(初出:ドラゴンマガジン2016年9月号)

01	02	03	10
04	05	06	
07	08	09	









Memory records of bastard magic instructor 4  
Illustration

- 01  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 4  
挿絵 P27 2019年  
(初出:ドラゴンマガジン2016年11月号)
- 02  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 4  
挿絵 P69 2019年  
(初出:ドラゴンマガジン2017年1月号)
- 03  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 4  
挿絵 P103 2019年  
(初出:ドラゴンマガジン2017年1月号)
- 04  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 4  
挿絵 P127 2019年  
(初出:ドラゴンマガジン2017年3月号)

- 05  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 4  
挿絵 P153 2019年  
(初出:ドラゴンマガジン2017年3月号)
- 06  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 4  
挿絵 P191 2019年  
(初出:ドラゴンマガジン2017年5月号)
- 07  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 4  
挿絵 P225 2019年
- 08  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 4  
挿絵 P239 2019年

- 09  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 4  
挿絵 P323 2019年
- 10  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 4  
挿絵 P15 2019年  
(初出:ドラゴンマガジン2016年11月号)

01	02	03	10
04	05	06	
07	08	09	









## Memory records of bastard magic instructor 5 Illustration

01  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 5  
挿絵 P45 2019年  
(初出: ドラゴンマガジン 2017年7月号)

02  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 5  
挿絵 P67 2019年  
(初出: ドラゴンマガジン 2017年9月号)

03  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 5  
挿絵 P97 2019年  
(初出: ドラゴンマガジン 2017年9月号)

04  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 5  
挿絵 P143 2019年  
(初出: ドラゴンマガジン 2017年11月号)

05  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 5  
挿絵 P159 2019年  
(初出: ドラゴンマガジン 2017年11月号)

06  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 5  
挿絵 P167 2019年

07  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 5  
挿絵 P197 2019年

08  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 5  
挿絵 P237 2019年

09  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 5  
挿絵 P263 2019年

10  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 5  
挿絵 P31 2019年  
(初出: ドラゴンマガジン 2017年7月号)

01	02	03	10
04	05	06	
07	08	09	









## Memory records of bastard magic instructor 6 Illustration

01  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 6  
挿絵 P13 2020年  
(初出: ドラゴンマガジン 2018年3月号)

02  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 6  
挿絵 P19 2020年  
(初出: ドラゴンマガジン 2018年3月号)

03  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 6  
挿絵 P69 2020年  
(初出: ドラゴンマガジン 2018年7月号)

04  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 6  
挿絵 P97 2020年  
(初出: ドラゴンマガジン 2018年7月号)

05  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 6  
挿絵 P163 2020年  
(初出: ドラゴンマガジン 2018年9月号)

06  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 6  
挿絵 P203 2020年  
(初出: ドラゴンマガジン 2018年11月号)

07  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 6  
挿絵 P257 2020年

08  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 6  
挿絵 P319 2020年

01	02	03	08
04	05	06	
07			









## Memory records of bastard magic instructor 7 Illustration

01  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 7  
挿絵 P47 2020年  
(初出: ドラゴンマガジン 2019年1月号)

02  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 7  
挿絵 P107 2020年  
(初出: ドラゴンマガジン 2019年3月号)

03  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 7  
挿絵 P137 2020年  
(初出: ドラゴンマガジン 2019年5月号)

04  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 7  
挿絵 P209 2020年

05  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 7  
挿絵 P239 2020年

06  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 7  
挿絵 P315 2020年

07  
ロクでなし魔術講師と追想日誌 7  
挿絵 P29 2020年  
(初出: ドラゴンマガジン 2019年1月号)

01	02	03	07
		05	
04		06	









## Memory records of bastard magic instructor 8 Illustration

01

ロクでなし魔術講師と追想日誌 8  
挿絵 P61 2021年

02

ロクでなし魔術講師と追想日誌 8  
挿絵 P175 2021年  
(初出: ドラゴンマガジン 2020年3月号)

03

ロクでなし魔術講師と追想日誌 8  
挿絵 P231 2021年

04

ロクでなし魔術講師と追想日誌 8  
挿絵 P143 2021年

05

ロクでなし魔術講師と追想日誌 8  
挿絵 P331 2021年

06

ロクでなし魔術講師と追想日誌 8  
挿絵 P9 2021年  
(初出: ドラゴンマガジン 2020年7月号)

01	02	03	06
		05	
04			







# Illustrations for the Dragon magazine

## Contents

- 103 表紙イラスト
- 110 特集イラスト
- 134 ふろくイラスト



## Comment

物凄く懐かしい……！ もう5年も前にドラゴンマガジンさんの表紙で描かせて頂いたものなのですね…。これが「ロクでなし」の初めての表紙デビューでした。

ドラゴンマガジン2016年1月号  
表紙 2015年











#### Comment

ドラゴンマガジンの表紙で描かせて頂いた物ですね。グレンとシスティーナの相棒感を出したかったイラストです。

ドラゴンマガジン 2017年5月号  
表紙 2017年



Comment

システィーナとルミアは本当仲良し  
ですね…！

ドラゴンマガジン 2017年11月号  
表紙 2017年

ドラゴンマガジン 2021年3月号  
表紙 2021年









Comment

グレンのニヤリ顔を描くのが好きな  
ので、よく描いていますね。(グレ  
ンが機軸に笑う顔があんまり想像で  
きないのもあるのですが…)

ドラゴンマガジン 2020年3月号  
表紙 2020年



















Comment

短編集のキャラ紹介部分に使って頂いているイラストですね。描いたのはだいふ前なので、この頃のシステムはまだグレンに対しての信頼度が低い顔してますね…。懐かしいです。









Comment

師弟コンビです。グレンの性格は、セリカありきな感じがしますよね。素敵な関係だなと思います。

ドラゴンマガジン 2016年3月号  
特集 2016年



## Comment

みんながスーツやドレスでびしっと  
決めても、グレンはやっぱり着崩し  
てしまうんですね…。

ドラゴンマガジン2016年5月号  
特集 2016年









ドラゴンマガジン2017年5月号  
特集 2017年

ドラゴンマガジン2017年5月号  
特集 2017年







Comment

お花見中の三人娘です。こういう穏やかな日常イラストも描いていて楽しいです。

ドラゴンマガジン 2018年9月号  
特集 2018年





# Comment

このイラストで一番力を込めて描いていたのが、テーブルの上にあるフレンチトーストだったりします。食べ物や料理を描けると「よっしゃあ!」となります。…多分ほとんどの方が注目しない部分だと思いますが…





Comment

お菓子の国のアニマル娘達です。シ  
スティーナが猫、ルミアが兔、リィ  
エルがリスのイメージです。





Comment

「ロンでなし」の世界観は洋風なので、和装は珍しいですね、描いていてとても新鮮でした！

ドラゴンマガジン 2018年3月号  
ふろく 2018年





ドラゴンマガジン2020年3月号  
定期購読記念イラスト 2020年



ドラゴンマガジン2015年9月号  
定期購読記念イラスト 2015年



# Extra

## contents

- 138 三嶋くろねインタビュー
- 140 羊太郎書き下ろし小説『メルガリウスの文化祭』後編
- 150 キャラクター設定画
- 156 その他イラスト
- 159 三嶋くろね書き下ろしあとがき



## Kurone Mishima Interview

もっとも苦労したデザインは「制服」

——「ロクでなし」魔術講師と禁忌教典（以下「ロクでなし」）の作品の第一印象は？

三嶋 小説の原稿を読むより先に、まずは担当編集さんから膨大な資料集が送られてきたんです。そこには世界観からキャラクターまでものすごくたくさんさんの設定がビッシリと書き込まれていて、その密度の濃さに驚いたのを今でも覚えています。設定を読むだけで、頭の中でどんな物語のイメージが湧いてきて、これは凄い作品になるなと思いました。

——三嶋さんは同時期にスニーカー文庫の『この素晴らしい世界に祝福を！』（以下「このすば」）のイラストも担当されてましたが、2作品の描き分けは意識されましたか？

三嶋 どちらも異世界ファンタジーではありますが、雰囲気は異なるので、意識せずとも自然と違うものに仕上がっていたと思います。「このすば」はどんな状況でも笑わせてくれるシリアスブレイカーなのに対して、「ロクでなし」は根本的にはアツいバトルファンタジー。端的に言えば「このすば」では可愛さを、「ロクでなし」ではカッコよさを追求していたイメージですね。グレンにしても基本は三枚目ですが、なんだかんだカッコいいですね。あ、別に「このすば」のカズマがカッコ悪いというわけでは決していないですけど（笑）。

——キャラクターデザイン時の思い出は？

三嶋 主要キャラのデザインはたくさんさんの

資料のおかげで、わりとすんなり決まったのですが、制服のデザインが大変だった記憶があります。決定稿に到るまでかなりのバターンを作ったかと（※vol.2 P15参照）。当初こそ「中世風の街並みに馴染むデザイン」を試行錯誤していたのですが、結果的には馴染むどころか目立ちまくる制服デザインになりましたよね（笑）。

——個人的に好きなキャラはいますか？

三嶋 みんな好きなんですけど、友達になりたいのはセリカです。チート級に綺麗すぎるお姉さんって最高ですよ。グレンとの親子のような、友達のような微妙な関係性も含めてすごく好きです。あと最近とくに気になるのはイヴですね。氷のようにクールな人なのかと思っていたら、物語を追う毎にだんだんと脆い面が出てきて。そういうキャラクターは個人的に大好きです。私としてもすごく描きやすくなりました。もしイヴがヒロインレースに勝ってグレンのお嫁さんになったらどうなっちゃうんだろうとか、妄想も捗ります（笑）。

「背景」と「男性キャラ」が大きく成長

——画集のイラストを振り返ってみていかがでしょうか？

三嶋 まずはたくさん描かせていただいたなあと思います。あとやはり、絵柄の変化は感じます。私自身、どちらかというと積極的に新しい手法を取り入れるほうで、絵柄の試行錯誤を繰り返しています。とくに7年前と比べると構図や塗りが大きく変

わったなと思います。例えば1巻の口絵（※vol.1 P030参照）などは、今だったら手前と奥でカットを割っていると思います。「ロクでなし」に限らず読者さんに「これってどこかで見たな」と思ってもらいたくないので、常に新鮮に見えるよう気を付けてはいますね。「ロクでなし」のおかげで、この7年間でカット割りの技術や構図の引き出しが増えたので、これは本当に作品に感謝ですね。塗りに関しても、単純に月日が経つことに使うペンを変えているので、やはり少しずつ変化しているんだなと感じました。

——今回の画集の収録にあたり、個人的なお気に入りをご紹介しますね。

三嶋 「vol.1」であれば、TVアニメ1巻のジャケット（※vol.1 P088参照）です。構図は指定があつたのですが、表情は自由に描かせてもらいました。自分なりにシスティーナの表情をうまく表現できたと思っています。これはお気に入りです。「vol.2」から挙げるなら、「ロクでなし魔術講師と追想日誌」シリーズのカバーイラスト（※vol.2 P060-067参照）はどれも好きですね。「禁忌教典」のカバーは基本的にキャラが決めポーズをしていて、目線も読者のほうを向いているんです。でも『追想日誌』では日常のワンシーンを切り取っていて、目線もできる限り外すことを意識して描いています。当初は本編と区別しやすいようにと思っ



——『ロクでなし』はカバーや口絵のイラストに男性キャラが多数登場するのも特徴ですね。

三嶋 そうですね。これまで男性向けコンテツでは可愛い女の子ばかりを描いてきたので、最初は男性キャラを描くのはちょっと苦手だったのですが、だんだんと慣れて、今ではすごく楽しいです。可愛い女の子の隣にカッコいい男性が並ぶと、やっぱり映えますからね。振り返ると、背景と男性キャラに関しては『ロクでなし』を担当させてもらったことで大きく成長できたような気がします。

一夫多妻制じゃダメなんですか？

——これまででもっとも好きなエピソードは？

三嶋 13巻で描かれたグレンとアルベルトの対決シーンです。(こは口絵(※10)にPOSS参照)でも描かせていただいたんですけど、個人的にグレンのニヤリ顔を描くのが好きなので、この時はストーリー展開も相まってすごくテンションが上がりました。グレンとアルベルトに関しては、かつての同僚ならではの、密かにお互いを信頼している感じがいいですね。

——そんな『ロクでなし』も、いよいよ物語の佳境を迎えますが、心境はいかがですか？

三嶋 最初にタイトルを読んだ時から「禁忌教典(アカシックレコード)って何だろう？」って思っていたのですが、それがよ

うやく明らかにそうで、本当にクライマックスに向かってるんだとずっとドキドキしています。最後までしっかりと見届けたいという気持ちと、終わってしまうのが寂しいという気持ちがあって、そこは読者の皆さんとまったく同じ感覚だと思います。

——ヒロインたちとグレンの関係の行方も気になりますよね。

三嶋 確かにそうですね。でも実際にはグレンが特定の誰かと結ばれるっていう展開は考えにくいかもしれない。読者の皆さんにもそれぞれの推しヒロインがいるでしょうから。羊先生の采配次第ではありますが、なんだかんだ言って最後は読者の想像に任せる形になるのかなと、今はそう予想しています。できればギャルゲーみたいにそれぞれのキャラごとに結末が描かれると最高なんですけどね(笑)。

——小説形式ではなかなか難しそうですね。三嶋 ですよね。だから「一夫多妻制じゃダメなんですか？」と羊先生に言いたいくらいなんです(笑)。

何でも描いてみたいです

——2021年12月には画業10周年を迎えますが、この10年を振り返っての率直なお気持ちは？

三嶋 10周年ですが、体感としてはまだ5年くらいしか経っていない気がします。それだけ、『ロクでなし』を始めとする多くの

作品に携わったこの10年が激動の日々だったということでしょうか。大人気シリーズの作品のイラストを担当させていただいて、それはとても嬉しいことではあるんですが、それと同時に時間が経つのが早すぎて「このままだとあとという間に寿命を迎えるんじゃないか？」と怖くもあります(笑)。

——次の10年で、三嶋さんが描いてみたいジャンルなどありますか？

三嶋 ファンタジーでも現代劇でもSFでも恋愛モノでも、何でもやってみたいという気持ちはどんどん高まっています。これまでに描いたことのない世界というのは最初こそ大変ですけど、描き続けていくなかでだんだんと形になっていく過程は本当に嬉しいですし、やりがいを感じるんです。それはまさに『ロクでなし』のイラストを担当させていただいたからこそ実感できたこと。まだまだ練習中ですけど、メカを描くのも嫌いじゃないので、そういった方向にも挑戦していきたいです。いろいろなことにチャレンジしたいという、その気持ちが私の原動力にもなっているので、ぜひこれからも応援していただけたら励みになります。

みしま・くろね

白髪娘を愛するイラストレーター&漫画家。『ロクでなし魔術講師と禁忌教典』(ファンタジア文庫刊)、『この素晴らしい世界に祝福を!』(角川スニーカー文庫刊)の挿絵や、VTuber月深ツキのデザインなどを手がけている。





## 『メルガリウスの文化祭』後編

著…羊太郎

「前編のあらすじ」

アルザノ帝国魔術学院文化祭、開催。  
グレン達二年次生二組は『メルガリウスの魔法使い』の演劇をすることに。

皆で協力した甲斐あって、午前の部は大成功。

だが、ひょんなことで二組の生徒の半分が、酔い潰れて前後不覚に。

迫る、午後の公演時間。  
大胆な配役変更で、なんとか公演にこぎ着けるグレン達。

果たしてグレン達は、文化祭を成功させることができるのだろうか――？

――。

「ざわ、ざわ、ざわ……」

今、二組が公演を行う薄暗い会場内には、観客達で溢れかえっていた。評判の舞台劇を一目見ようとする生徒達で溢れかえり、立ち見も現れる始末だ。

二組の惨状は、噂となって学院中に蔓延しており、ひよつとしたら午後の公演はなくなるかもとの噂もあっただけに、多くの生徒達が公演決定の知らせに喜んだ。

だが、本当に公演できるのか？ 大丈夫なのか？

誰しもがそんな不安を拭うことはできない

い。

やがて。

多くの不安と期待を背負って、会場内に高らかに響き渡る鐘の音と共に、公演開始時間がやってくるのであった――

「これより始まるは、今は遠き昔、遙か昔の物語……」

始まるは、急速、代理ナレーターを務めるロザリーのナレーション。

そして、しめやかに上がっていく舞台の幕。

照明が絞られ、正義の魔法使い役が、舞台上に颯爽とその姿を現す――

「魔王め！ よくも僕の故郷を滅ぼし……お姫様を……ッ！ 許さないぞ！」

――正義の魔法使い役の衣装に身を包んだグレンが。

「え？ 何アレ……」

「グレン先生……だよな……」

予想外の展開に、ざわつく観客達。

「本当に、どうしてこうなったーッ!? ええい、誓ってやるわ！ 僕は皆のために魔王をぶつ潰してやらあああああーッ!?」

最早、ヤケクソ気味に、大いなる冒険へ旅立つ魔法使いの役を演じるグレン。

「お師匠様！ 私もお供します！」 ひそひそ（ちよつと、先生、素が出てますよ！ もっと真面目に演技してください！）

正義の魔法使いの弟子役を演じるシステ

イーナが、舞台上で演技しつつ、グレンへひそひそ声の抗議を送る。

「ッつ、ついてきてくれるのかい!? 魔王を倒す旅は、きつと辛く苦しい旅となる……」 ひそひそ（ッつか、なんでよりにもよって俺が主役なんだよ!?）

「もちろんです！ お師匠様のためなら、私は火の中、水の中！ ひそひそ（だつて『メルガリウスの魔法使い』に詳しくて、今回の脚本を熟知してて、他に手の空いている人、先生しかいないじゃないですか!?）」

「弟子よ、そこまで僕に期待してくれるのは嬉しい。でも、僕は不安なんだ、そんな大役が僕に務まるのだろうか？ ひそひそ（ッつか、無理に決まってるんだろ!）」

「そんなことありません！ お師匠様ならきつと成し遂げられますよ！ ひそひそ（無理でもやるしかないんです！ 腹を括っってくださいっ!）」

この大一番に至り、なぜこのような大胆な配役変更が行われたのかまったくわからず、ボカンとしている観客達を尻目に。

やがて、正義の魔法使いとその弟子は、魔王を倒す誓いを立てるのであった。

「くそ、わかつたよ、そこまで言うならやつてやらあ……ッ!」

「わ、わかればいいんですよ、お師匠様が……ッ！ わかれは……ッ!」

がしっ！ 二人が舞台上で、誓いの握手をかわす。

グレンが大人の握力を持って、全力でシステイーナの手を握りしめる。

システイーナも負けじと付呪魔術で握力を即興強化し、グレンの手を握りしめ返す。

ぎりぎりぎり……結果、拮抗し、グレンとシステイーナは至近距離で、もの凄いい形の睨み合いとなるのであった。

それを見た観客達は――

「まさか、ここに来て主役の配役が変わるとは思わなかったけど……」

「ああ、凄いだ……ッ！ 二人とも、何が何でも魔王を倒してやるという、殺意にも似た決意が滲み出ている……ッ!」

「ああ、恐いくらいにな……ッ!」

「午後の公演……これは凄いいことになりそうだな……ッ!」

――などと、息を呑むのであった。

「だ、大丈夫かなあ……?」

「ん……」

舞台袖から様子を覗くルミアは苦笑い、リリエルは目をぱちくりするのであった。

そんな不安極まりない滑り出しで始まった、午後の公演。

正義の魔法使いは、その弟子を伴って魔王退治へと旅立つのであった。

意外にも、一旦、劇が始まってしまえば、グレンは持ち前のアドリブ力を発揮し、台詞の端々に危ういものを滲ませつつも、堂に入った演技を行っていく。

システイーナも、グレンと息びつたりの演技でフォローしていく。

午前の公演とはちよつと雰囲気異なる、一風変わった凸凹コンビ。といった感じの正義の魔法使いとその弟子に、観客達は徐々に引き込まれ、感情移入していく。

そして、ロザリーのナレーションに従い、舞台上でグレンとシステイーナは、魔王を







な展開になるんだ……ッ!?」

「くうううう……ッ!? 二回目だけど見に来て良かったあ……ッ!」

「しかし、あの聖女の最期……凄いい演技だったな……ッ!」

「ああ、本当に吐血して死んだかと思ったぜ!」

「こりゃ、これからの展開も楽しみだな……ッ!」

「え、ええ……?」

あさつての方向に勘違いする観客達に、

システイーナは頬を引きつらせるしもなく、

舞台裏で動揺が広がる中、ロザリーが咄

嗟にアドリブのナレーションを入れる。

「ま、魔王の呪いによって、道を切り開くこともできず、非業の死を遂げてしまった聖女様! 正義の魔法使い達の戦いはこれから一体、どうなってしまうのでしょうか!? 十分の休憩を挟んだ後の第二幕に、乞うご期待ッ!」

そして、裏方の生徒達が慌てて、舞台の幕を下ろすのであった――

「ちょっと、先生!? 勝手にあんなことして、どういふつもりなんですか!」

「仕方ねーだろ!? あの場合はあるしかなかっただろうが!」

第二幕への期待が高まる観客席とは裏腹に、楽屋裏は阿鼻叫喚の大紛糾であった。

この大幅なプロット変更は、二組の生徒達の誰もが頭を抱えている。

ちなみに、当のセシリアは……

「むきゅん、ご、ごめんなさいです……」

「あ、あはは……気にしないでください

……私達が無理をさせてしまいましたから……」

ルミアに介抱されてぐったりしていた。そんなセシリアを尻目に、グレンは天井に向かつて吠える。

「ああもうっ! なんでこんなトラブルばかりなんだよ!」

「じ、実際、どうします!? さっきの一幕で聖女が道を開かないと、プロットの最終決戦に挑めないんですけど! このままじゃ話、続けられません!」

システイーナもあたふたと言う。

「……ん。わたしにはよくわからないけど……もう駄目なの?」

木々の被り物をしているリエルも少し哀しそうだ。

「うぐぐぐ……」

グレンがどうしたものかと頭を捻っていると。

そこへ救世主が声を上げた。

「待ってください! まだ大丈夫です!」

意外なことに、その救世主は、代理ナレーターを務めていたロザリーであった。

「多少、強引にはなりますが、この脚本なら、まだまだ軌道修正できます!」

ロザリーが自信に満ちた表情で、そう断言する。

「これからの展開は、私が脚本をアドリブでアレンジしつつナレーションしますから、皆さん、それに合わせて演技してください! 大丈夫! 細部が変わるだけで、本来の演技内容からそう外れないようにはします! そうなるよう辻褄を合わせますか

ら!」

「ロザリーさん!? そ、そんなことが出来るんですか!」

「もちのロン! フン! 実はこういうの、私、大の得意分野ですから! だてにアルザーノ帝国魔術学院を(実技以外は)首席で卒業してません!」

ドヤ顔で胸を張るロザリー。

(……本当はド三流のヘッポコのくせに、世間に向けて超一流魔導探偵を装うストーリー捏造だけは、普段から上手いからな……)

とは、さすがにここでは言えないグレンを他所に。

「ほ、本当ですか……良かった……ッ! それなら続けられます……ッ!」

ロザリーの手を取り、涙を浮かべて喜ぶシステイーナである。

「うおお、ロザリーさんがいてくれて本当に良かったぜ……ッ!」

「さすが、フェジテで音に聞く名探偵……ッ!」

生徒達も、降臨したこのまやかしの救世主にすっかり心酔していく。

「溺れる者は藁をも掴む……偉大なる先人の言葉は実証的確だ!」

グレンは、そんな一同を呆れながら眺めるしかない。

「……で? どうするのよ? 監督兼主演さん?」

すると、どこかそわそわとした様子のイヴが、グレンへまくし立ててくる。

「まあ、常識的に考えれば、ここで中止が妥当だとは思うけど。まあ、生徒達が、ま

だ諦めていないわけだし。まあ、私は止めた方がいいと思うけど、納得いくまで続けさせるのもありじゃないかしら? 私は止めるべきだと思うけど! あくまで私個人は!」

(こいつ、滅茶苦茶、続けたそうだな……! どんだけ青春イベントに飢えてんだ)

だが、そんな面倒臭いイヴに突っ込んでいる暇はない。

「ええい、わかってらあ! こうなりや、観客に愛想尽かされるまでやってやらあ!」

「はあ……まだやる気? 仕方ないわね……失敗するのが見えてるから私は嫌だけど、もう少しだけ付き合っただけ。私は嫌だけど!」

(途端、嬉しそうだな、コイツ……) わかりやす過ぎるイヴに、もはや何も言えないグレンであった。

それはともかく。

「よしっ! とにかく、お前らっ! これからは臨機応変のアドリブ合戦だッ! 気合入れろよッ!」

「『おおおおおおお……ッ!』」

最早、毒喰わば、皿まで。

残された生徒達は、ヤケクソ気味に気合を入れるのであった。

こうして、様々な不安を渦巻かせながら、演劇は再開する。

一体、第二幕からどうなることやら……グレン達以下、誰もが不安に思っていた。

だが、意外にも、それは杞憂に終わる。



「奇しくも聖女の力を得ることができなかった魔法使いは、とある決断を下すことになりました。そう、それは想像以上に辛く苦しい旅路の始まりだったのです——」

それは、ロザリーの捏造という名のアドリブが、予想外の効果を発揮したからである。

多少のストーリーラインの無理臭さは、ロザリーの感動的ナレーションが、見事なまでに脱臭することに成功。ごちゃごちゃとわかりにくい美辞麗句で、スッカスカな中身を華麗に飾り立て、なんとか誤魔化しきったのである。

基本的に、展開はそれほど変わっていないのだが、演出によって、今までとは、まったく異なった展開に見えるようになり、観客達はそれまで以上に引き込まれていく。

(さ、さすがは、取り繕った外面で、世間とマスコミを完璧に騙し続けている、超一流の詐欺師……つか、こいつはほんだけ面の皮が厚いんだ……?)

グレンはどん引きだが、この状況としてはいがたい。

だが——劇の進行は、やはり苦難の連続であった。

「こうして、正義の魔法使いは、人々の切なる願いを受け入れ、鉄壁の守りの魔王軍、哀れなる死者の魂、恐るべき髑髏の軍勢に、真正面から立ち向かうのであります！ さあ、難攻不落のココさえ越えれば、魔王の住む魔都はもうすぐそこだ——」

「ちよつと待てええええええーッ!」

舞台上、殺陣シーンを演じているグレンが吠える。

「なんなんだ、こいつら!? 本物のボーン・ゴレムじゃねーかッ!」

「ええ、そうですね、シユウザイ教授に頼んで、本物を出してもらいましたから!」

「しかも、持っている武器、本物の剣で、戦闘設定が俺を殺す気満々じゃねーか!」

うひゃあああああああ! 今、刃が擦ったあ!」

「ここは、さすがにちよつと、強引過ぎる展開ですからねー、派手な演出で誤魔化すことにしました!」

「うおおおおおーッ! ふざけんな、死んでたまるかあああーッ!」

生存本能が訴えかけるままに、グレンは四方八方から、剣を振りかざして特攻してくるボーン・ゴレムを、拳でなぎ倒していく。

「せ、先生、危ない! 《唸れ暴風の戦槌》——ッ!」

びゅー! ごしゃつ!

システイーナの放った風の戦槌が、ゴレム達を粉々に破壊する。

そんな、グレンとシステイーナの、実戦さながら(というより実戦そのもの)の派手な立ち回りに……

「す、すげえ……ッ!」

「ああ、午前の公演とは、殺陣の迫力が違う……ッ!」

「敵もリアルだし、なんか、本当に命のやりとりをしているみたいだ!」

「こんなイーフルトを、用意してきてくれたなんて……ッ!」

「本当に、見に来てよかった……ッ!」

まさかそれが本物の実戦だとは露ほども思わず、観客達は大笑声を上げて大喜びだ。

「くそおおおおーッ! なんて演劇で命かけにやなんのだあ!」

「き、気持ちばかりですけど、先生! 演技! 演技!」

「そ、そうだった! お、愚かな魔王め! 温いぞ! こ、この程度の軍勢で、僕達の不退転の歩みを止められると思うな!」

グレンが震え声で、そう台詞を言う。

「『おおおおおおおおおおおおおーッ!』」

大盛り上がりする観客席。

「む!? 温いだ!?」

すると、余計なやつ……裏方のオーウェルまで盛り上がる。

「さっき、グレン先生は、ここからは臨機応変のアドリブでやると言ったな!? つまりその台詞は! 敵役の戦闘設定が弱すぎて盛り上がりかけるから、なんとかしろと、そういう演劇に全てをかける先生の熱い魂の叫びだと、私は察したッ!

ようしっ! ならばこの試作品! 『ダブルヘッド・スーパードラゴンキマイラクン4号』も投入しよう! この合成魔獣は凄いいぞ! 格好いいぞ! その気になれば、百人くらい一瞬で挽肉にして喰い殺せるほどの戦闘能力があつて——」

「やめろおおおおおーッ! そのアホ、誰か止めろおおおおおーッ!」

「ああああああんっ! もおおおおおおおおおーッ!」

熱狂する観客達の大歓声によって、グレンとシステイーナの叫びはかき消されていく。

「……」

「で、出たな、魔煌刃将アール・カーンッ!」

物語は進行し、魔将星と対峙するシーン。グレンがローブを翻して、颯爽と台詞を吐く。

だが……

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」



か!? 後は、互いに刃を交えるのみだというのか!? 良いだろう! 良いよな!」

先ほどから、グレンがアドリブで一人台詞を回し、なんとか場を持たせようとしているが……それも最早、限界に近かった。

「ひそひそ（なあ、白猫!? も、もう、殺陣シーンに入っているのか!? いい加減、無理!）」

「ひそひそ（だ、駄目ですよ先生!? 後、五分は延ばさないと!? 次のシーンの舞台準備が間に合いませんよ!）」

ちらりとシステイーナが目を向ける舞台奥では二重幕の向こう側で、もの凄く勢いで準備をしている気配があった。微かな悲鳴や叫び声まで聞こえてくる。

「ひそひそ（だが、どうすりゃいいんだよお!）」

「ひそひそ（そつ、それは……ええと……ッ!）」

観客にとつての緊迫した沈黙が、ただの退屈に間延びした隙間時間と化しかける……まさに、そんなギリギリのその時。

グレンが、苦肉の策で咄嗟に決断したことは――

「ほそつ（リィエル、この場合、世界を支配する者とは、莓タルトだと考えろ!）」

「!」

グレンがそう呟いた、その瞬間。リィエルの眉が、びくりと動き、その口が動き始める。

「ふ………笑止。世界を支配する者とは、魔王でも、あなたでもない。それは、この世界に唯一無二の至高の存在。こうして議論することもおこがましいこと!」

突然、あの口下手なリィエルが、饒舌に台詞回しを始めた。

「どうやら、あなたは、ここまで旅を続けて来ながら何もわかってない。わたしがこの世界で唯一認める、それが、どれだけ素晴らしい至高の存在か教えてあげる。」

まず、わたしとその真に世界を支配すべき存在との出会いは、今から半年前のこと……そう、新たな出会いが交錯したあの運命の日。戦いに続く戦いで、空虚に乾ききっていたわたしの心を、砂漠に落ちた一滴の水のごとく癒してくれた。その時、わたしは悟った……わたしは、それに仕えるために、この世界より生まれ落ちたのだと!」

「えーと、あの、アール＝カーンさん? お前の――」

「黙って、魔法使い。まだ説明が1%も終わってない!」

グレンが台詞を切ろうとするも、それを突っぱねるリィエル。

「わたしは、それに出会って以来、変わった。わたしが、いままでいかに狭い世界と価値観で生きてきたかを知った。ゆえにわたしは、それを頑なに信仰し、この剣を捧ぐことになったのは運命。そもそも――」

観客達は、何のことだかサッパリわからないが、アール＝カーンにとつて、そのかつて出会った真なる世界の支配者や、わがかに素晴らしい存在かということだけはわかったようである。不思議そうな表情をしながらも、しんと聞き入っている。

リィエルもリィエルで、莓タルトの素晴らしいさを語り尽くすまで、話を止める気配がまったくなさそうであった。

今の所、致命的な破綻はしてないが……（やばいな、これ……）

グレンとシステイーナは、戦々恐々とするしかない。

（今度は、時間オーバーしそうだ、どうしよう……?）

（う、ううーん……）

舞台上の二人も、裏方も、再びアドリブで展開修正をしなければならなくなってしまったことに、ひたすら頭を悩ませるしかないのであった。

……そんなこんなで。

グレン達の波瀾万丈の演劇は、なんとか続いていく。

今にも、破綻寸前のストーリーラインを、針に糸を通すような細い道を繋いで、辛うじて繋いでいく。

ロザリーの捏造ナレーションで七転八倒する展開。全力を出してしまつたオーウェルの過剰演出。グレン達が土壇場で発揮したヤケクソじみたアドリブ力。

それらが合わさって、奇跡的な寸劇が展開されていく。

そして――物語は進行して、進行して――

――

「つ、ついに……」

「魔王との最終決戦ですね……お師匠様……」

舞台上で、正義の魔法使いに扮するグレンと、その弟子に扮するシステイーナが、

疲れきった顔で呻いていた。

「た、頼むぜ、グレン先生……」

「システイーナも……」

舞台袖で様子を窺う二組の生徒達も、よくもまあ、ここまで突貫工事的路線変更とアドリブで辿り着けたなど、はらはらしながら見守っている。

そんな舞台裏事情とは裏腹に、今の観客達のボルテージはMAXだ。

これまであまりにも斬新な展開を見せられ続けてきただけに、どのような着地点に収まるのか、期待を抑えきれない……そんなところだ。

「ついに、ついに、空の彼方の城へと至り、魔王との戦いに挑む、正義の魔法使いとその弟子! 愛しいお姫様との再会は、すぐそこだ――」

今は、ロザリーが相変わらずの強引な捏造ナレーションを行っている最中だ。

グレンとシステイーナは、しばらくそのまま、舞台上で待機。

一息つける時間であった。

「しっかしまあ、こんなに穴だらけな『メルガリウスの魔法使い』は初めてだぜ……」

「まったくですね……後から後から、アドリブと後付けでストーリーを繋げたから、重要イベントがごっそり抜けてますね……」

そんな一時的待機時間の中、グレンはシステイーナとひそひそ声で会話を。 「代わりに、変なイベントがたくさん差し



込まれましたし……」

「そもそも、魔将星達の扱いが全体的に酷い」

「特に酷いのは、鉄機剛将アセロロイエロですよね……無敵の神鉄の身体はどこにいったんですかね？　なんか、私の銃の一発で退場しましたけど。実は私、一回撃たれただけで死ぬぞお！　って」

これほど無茶苦茶な展開なのに、観客達が完全にのめり込んでいるのは、ロザリーの口八丁のナレーションも大きいのが、完全に、その場の無謀なノリと勢いの賜物であった。

二組の誰もが、この公演を成功させようと、必死になった結果と言えた。

「まあ……そんな苦労も、もうすぐ終わりだ」

「そうですね。後は、イヴさんが演じる魔王を、本来の筋書き通りの手順でやつつけて、終幕ですね……」

「あんなに道が曲がりくねったのに、結局元の鞘に収まる辺り、ロザリーのやつ、これ一種の才能だよな……」

と、その時だ。

「——そして、今、運命は、正義の魔法使いと魔王……二人の英傑を引き合わせる！　前世から繋がる因縁の対決の火蓋が、ここに切って落とされるのであった——」

ロザリーの内레이션が十分に尽きる。舞台袖から、時間管理をしている生徒が、演技開始の合図の手を上げる。すると、舞台裏で、オーウェルが予定通

り（謎の魔導装置を操作して）、舞台上に霧の演出をしかけていき……背景スクリーンに投射した稲妻のエフェクトと共に、魔王の影がゆっくりと現れる。蓄音機から勇ましくドラマチックな楽曲が流れる。

「よし、白猫！　行くぜ！」  
「はいっ！」  
「はいよクライマックス——最終決戦の始まりだ。」

グレン達は気を引き締めて、現れる魔王の影と対峙する。  
やがて、ゆっくりと霧の効果が晴れ、二人の前に姿を現したのは——

「よく来たな……ッ！　我に桶突く愚かなる魔法使い達よ……ッ！」  
「……へ？」

——。

その頃——楽屋裏にて。

「そろそろ、クライマックスが始まった頃かな……よし、もうすぐ私の出番だね」

お姫様役のルミアが、着々と準備をしていた。

「本当にここまで皆で、よくがんばったよね……私もがんばらないと」

ルミアが鏡の前でメイクをしながら、もう静かに闘志を燃やしている。

「……あれ？」  
妙な物音を聞きつけて、ルミアの手が止まる。

「なんだろう、今の……声……？」  
キョロキョロと見回せば、周囲には誰もいない。

皆、舞台の裏方作業で、猫の手も借りたいほど忙しく動いているからだ。

だが……この部屋のとこからか、微かに物音と声が聞こえた……気がしたのだ。

「ええと、どこからだろう……？　なんか怖い……」

ルミアは恐る恐る耳を澄まして、室内を回る。

やがて、部屋の隅にぱつんと設置されているロッカーの前で足を止めた。

間違いない。微かな物音と呻き声は、この中から聞こえてくるものだ。

「だ、誰かいるんですか……？」

ルミアが恐る恐る、そのロッカーの扉を開くと。

どさり。

ルミアの前に、ロッカーの中に閉じ込められていた、とある人物が倒れ込んでくる。

非常に高度な魔術ローブで、ぐるぐるの簀巻きにされているその人物は——

「んんん……ッ！　んん……ッ！」

「えっ!?　イヴさん!?　どうしてここに!?　今、公演中じゃ——ッ!?」

——。

「つてえ!?　なあんで、お前がこんなタイミングで出てくるんだああああああああああああああああああああ……ッ!?」

ああああああああああああああ……ッ!?　会場中に、グレンの叫びが響き渡っていた。

そう。渦巻く霧のエフェクトを割って、邪悪な黒いローブを颯爽と翻し、現れた魔王の正体は——なんと、セリカだったのである。

「ぐくくく……よく来たな、正義の魔法使いよ！　我が闇の軍勢を全て打ち倒し、姫を救うためにここまで至った、汝の執念、褒めてやろうッ！」

大慌てなグレンやシスティーナ、舞台裏や舞台袖の裏方組とは裏腹に。

当のセリカは、もうノリノリであった。

予定外も予定外だが、最早、このまま突っ切るしかない。

ロザリーが最終決戦前の、最後のナレーションを入れている最中、グレンとセリカがひそひそ声でやり取りをする。

「ひそひそ！（ちよっと待て！　おいコラ！　イヴはどこへ行った!?）」

「ひそひそ！（ふん！　昔、お前を、虐めていたあんな性悪女は知らんッ!）」

「おいッ！　と。実に子供っぽくそっぽを向く、大魔王様。」

「ひそひそ！（大体、お前もお前だッ！　なあんで、私より先に、あんな女を頼ったんだよ!?　酷いじゃないかッ!）」

「ひそひそ！（だ、だって、裏方ならともかく、舞台にお前を上げたなら、何もかも滅茶苦茶になるだろうが!）」

「ひそひそ！（そもそも、最近、お前、私のこと全然、構ってくれないしッ!）」

「ひそひそ！（だから、最近文化祭の準備で忙しくてさあ!）」

「ひそひそッ！（ええい、うるさいうるさいうるさいッ！　忙しいからって母親を放置する悪い子はお仕置きだッ！　寂しさのあまり、私は再び闇落ちしたんだもんッ!）」







7  
7  
6  
5  
7  
6  
6  
7  
7



ッ!?)

だが、その真偽を確かめている暇はない。  
「さあ、出でよ！ 我が億百の眷属達よ！  
総出で、かの魔法使いを倒すのだ！ 姫を  
我が手中に収めるためにッ！ 早く出て来  
なさいよ！ 命令よッ！」

システイーナの暴走は続く。

「え、ええええ？ こ、これをフォローす  
るには……あああつとおう!? 新たな第二  
の魔王の権能によって、今までやつけた  
魔王軍が不思議な力で全員復活しました  
っ！ さあ、二組の皆さん、総出で魔法使  
いを倒してください！ 今すぐに！」  
ロザリーも場を収めるため、ノリと勢い  
で乗っけてしまう。

すると。

「ええい、なんだか状況が、サッパリわか  
らんが……やつてやらあ！」

「そ、そうですわねっ！」

ようやく眠りから覚めたらしい、カッシ  
ユやウエンデイル役者組達だ。

「……もうヤケクソだああああああーッ  
ッ!」

そして、裏方の生徒達が、新生魔王軍と  
して続々と舞台上上がった。

「なるほど、そういうことなら！ 敵役と  
して出し損ねていた『ダブルヘッド・スー  
パードラゴンキマイラくん4号』も投入す  
るかあ！ ぼちつとなあ！」

ここぞとばかりにオーウェルも乗って。

「チャンス！ ぶ、舞台上に上がるチャンス  
だわッ！ 別に私は興味ないけどッ！ で  
も、一応協力すると約束した以上、ちゃん  
とやらないと！ 私は嫌だけど！」

イヴもここぞとばかりに、あたふたと舞  
台上に上がって。

「ほう？ ならば、別に倒された魔王が  
復活して再登場するのもアリだろう？」

「ん？ また出番？ がんばる」

セリカやリエルまで、舞台上に降臨して  
しまう。

「お前ら、何考えてんだボケええええ!?  
劇が滅茶苦茶になるだろうが!」

「最初から滅茶苦茶だったじゃない!? な  
るようになれよ!」

叫くグレンに、明らかに正気じゃないシ  
ステイーナが吠えて。

「あ、あははは……なんか、最後はやっぱ  
り私達らしいね……」

ルミアは苦笑い。

「……これからが真の最終決戦だったのかあ  
あああああーッ!」

「……おおおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおおおお

おおおおおおおおおおおおお  
おおおーッ!」

観客達は、諸手を挙げて大興奮。

「ええと……皆さん、あまり無理しないで  
くださいね？ 怪我したら私が看ますか  
ら」

舞台袖でセシリアが、心配そうに苦笑い  
して。

「さあ、お姫様は一体、誰の手に!? 正真  
正銘の最終決戦！ 仁義なきお姫様争奪バ  
トルロワイヤルの始まりだあああああー  
ッ! レッツファイッッッ!

「どうしてこうなったあああああああ  
あああああーッ!」

ロザリーの煽りに、グレンの悲鳴がアン  
サンプルして。

「……うおおおおおおおおおおお  
おおおーッ!」

舞台上に爆炎が吹き荒れ、稲妻が乱舞し、  
吹雪が渦を巻く、地獄の戦闘空間が、再び  
出現するのであった――

………

………

………

そして――

「まったく、酷い目にあつたぜ……」

全身ボロボロで煤だらけのグレンが、い  
かにも不機嫌そうに呻いていた。

「もう文化祭なんて、金輪際二度とゴメン  
だ……」

「あはは……」  
頭を抱えるグレンを、ルミアが宥めてい  
る。

そんなグレン達がいる場所は、魔術競技  
場。

もう辺りはすっかり暗く、夜の帳が降り  
ている。

競技場の真ん中では櫓が組まれて篝火が  
焚かれている。

その周囲を輪になって、学院中の生徒達  
が集まり、音楽に合わせて、フォークダンス  
を踊っていた。  
伝統的な文化祭の後夜祭の時間だ。

即ち、もうすぐ今年の文化祭は、ついに  
終わりを告げるのである。

「まったく……あんなだけ頑張ったのに、結局、  
優勝は取れなかったしな!」

「まあ……投票では、他所のクラスに圧倒  
的大差をつけて、勝ったみたいですけど  
……借りてた講義室をあそこまで破壊した  
ら仕方ないですよ……」

システイーナも正気を取り戻したらしく、  
どんよりとした目で沈んでいる。

「グレン？ システイーナ？ 疲れた  
の？」

ただ、リエルだけは、いつもと変わら  
ずキョトンとしていた。

「疲れたんだよ！ まったく、くたびれもう  
けの骨折り損だ、このことだぜ!」

グレンはイライラと苛立ちを抑えようと  
もしなかったが。

「それでも……ふふっ、楽しかったですよ  
ね？」

ルミアがにこやかに笑った。

するとグレンは、ふと押し黙って。

「……まあ、な」  
ほそり、と。そっぽを向きながらバツが  
悪そうに呟くのであった。

「来年もこんな風に、皆と一緒にわいわい  
できるといいですね」  
「今年みたいにハチャメチャなのはもうカ  
ンペンだけど……そうね」

システイーナも髪をかき上げながら、夜  
空を見上げる。

「やれやれ」  
グレンが肯定も否定もせず、肩を竦めて  
いると。



少し離れた場所に背を向けて佇むイヴを見つめ、声をかける。

「あー、イヴ？ 残念だったな？ 舞台出られなくて」

「は!? 残念!? 私が!?」

イヴが、ばっ! と振り返る。

「別に!? ていうか、もう本っ当に、最悪! やっぱり、文化祭なんていう浮ついたイベントに関わるべきじゃなかったわ! なんなのよもうッ!」

そんな苛立ちを隠そうともしないイヴへ。

「まあ……良かったら、来年の文化祭は、俺達と何かやるか?」

「や、やらないわよ!」

顔を真っ赤にして、ぶいっとそっぽを向くイヴ。

(ま、来年になったら、また、力を貸してくれ! とお願いしてみるか……)

素直じゃない同僚に、グレンが苦笑している。

「おおお……いっ! 先生……ッ! 一緒に踊らねえかあ……ッ!」

篝火が焚かれている中央の方から、声がしてくる。

見れば、二組の生徒達がグレン達に向かって手を振っている。

そこには、ロザリーも、オーウェルも、セシリアも、セリカもいる。

昼間、あんなことがあったというのに、皆、どこか笑顔で嬉しそうだった。

結局、なんだかんだで……皆、今日という一日が楽しかったのだ。

「ま、たまには悪くねーか、こういうのも」

グレンが苦笑いで立ち上がり、二組の生徒達の方へと歩き出す。

「そうね、せっかくだし踊ろっか?」

「うんっ!」

「ん」

三人娘達もそれに続く。

「ふん。まあ……付き合っただけでいいわ」

イヴも洪々といった雰囲気が続く。

「ふふふ、先生? 私と一緒に踊りどうですか?」

「なっ!」

「ちょ、ルミア……そ、それは……ッ!」

「大丈夫だよ、システイ。別に先生を独り占めはしないよ? ちゃんとシステイにも代わってあげるから」

「えっ!? いや、私、別にそうじゃなくて……ッ!」

「踊る……なんか楽しそう。わたしも一緒にグレンと踊る」

背後で賑わい、三人娘達の存在を感じながら。

「……ふっ」

グレンは、密かに笑みを零すのであった。

終始、混沌の渦中にあった、二組のアルザノ帝国魔術学院文化祭。

その後夜祭の優しい時間が、ゆっくりと過ぎていき、夜が更けていくのであった

――

(おわり)



アリスア女王(78)

レーン  
(19)  
173cm

ポニテ上

下



• リディア (20)





・ニーナ (15)



・アンナ・



・イリア=イレーザ



・サラス=フェーマ













レイク・フォー・エンハイム (300~)

魔法で  
出てくる剣

エレノア(25)  
← 実際は  
光ってる







女子制服?



### Comment

カラーでは登場していないキャラクターもカラーラフがあったりするので、こういった機会に公開されるとドキドキしますね・・・！アルザーノ帝国魔術学院の制服も、こうしてみると色々カラーパターンがありました。









### Comment

和装システィーナ再び！ カラーリングは制服イメージで、和装ではありますが「ロクでなし」のキャラクターだとしっかり分かって頂けるようにしています。

ファンタジア文庫大感謝祭  
イラスト 2019年





### あとがき

まずは本書をお手に取って頂きありがとうございます！  
初めての方は初めまして、画集第1弾を既にお持ちの方はちょっと  
お久しぶりです、三嶋くろねです！

お陰様で、第2弾も無事に世に出して頂くことができました…！  
第2弾では、第1弾に収録されていなかった短編集『追想口誌』の  
イラストだったり、三嶋へのインタビューなども見ることもできま  
す。  
個人的に、短編集の方は、キャラの指定と大まかなシチュエーショ  
ン指定を頂く以外はほぼ自由にやらせて頂いていて、かつ「ロクで  
なし」の日常感を1枚絵にできるのでどれもお気に入りだったりし  
ます。逆に、シチュエーションの無い表紙専用イラストの方が「こ  
のキャラはどうしよう!? どういう表情をさせよう!?」と迷う事  
もあるので難しいですね…！

色々描かせて頂きましたが、本編や短編集の「ロクでなし」の  
世界に触れる時に、この画集が少しでも皆様の想像する物語のお手  
伝いができたら幸いです。

第1弾から引き続き、本書制作に携わって頂いた方、短編を書き下  
ろして下さった羊先生、いつもお世話になっている担当様方、心よ  
りの感謝を申し上げます。

まだもう少し本編は続きますので、皆様と共に私も最後までグレン  
先生達の物語を見届けたいと思います！  
では、またどこかで！





ロクでなし魔術講師と絵画回想

三嶋くろね画集

vol.  
2

KADOKAWA







ロクでなし魔術講師と  
絵画回想

ギャラリートレコード

三嶋くろね画集

vol.  
2

KADOKAWA





# ギャラリーレコード ログでなし魔術講師と絵画回想 三嶋くろね画集 vol.2

著者 三嶋くろね

著者 羊太郎

---

2021年8月20日 発行  
ver.001

©Kurone Mishima, Taro Hitsuji 2021

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました  
『ログでなし魔術講師と絵画回想 三嶋くろね画集 vol.2』  
2021年8月20日 初版発行

発行者 青柳昌行  
発行 株式会社KADOKAWA  
<https://www.kadokawa.co.jp/>

## ●お問い合わせ

<https://www.kadokawa.co.jp/> (「お問い合わせ」へお進みください)

※内容によっては、お答えできない場合があります。

※サポートは日本国内のみとさせていただきます。

※Japanese text only

本電子書籍の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信すること、  
あるいはウェブサイトへの転載等を禁止します。  
また、本電子書籍の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。  
本電子書籍購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず  
本電子書籍を第三者に譲渡することはできません。  
本電子書籍の内容は、底本発行時の取材・執筆内容にもとづきます。  
本電子書籍を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に  
予告なく変更される場合があります。  
また、ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。

この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは関係がございません。

## 装丁・デザイン

草野剛デザイン事務所(草野剛・近藤ひろ・佐野ゆかり・藤田峻矢・井上寛・西山愛香・濱田郁)